

つながり

麻生田小だより No. 8

令和5年12月1日

文責 校長：阪本 雅弘

【教育指針】礼・学・体

【校訓】かしこく 強く 美しく

【教育目標】いつまでも続く未来を創るために、自ら考動する子どもの育成

【学校経営スローガン】「子ども一人一人が輝き、笑顔があふれ、毎日来たくなる学校」



麻生田小キャラクター
「アッサニー」

English Day, ALT の先生 8 人集結！英語を話せると楽しい！

“Hi! How are you?” “I’m fine, thank you.” 11月22日(水)元気な英語でのあいさつが飛び交っていました。English Day と称して、この日に、南アフリカ、フィリピン、ニュージーランド、アメリカ、イギリス出身の ALT 8 人に本校に来てもらい、英語のスペシャル授業をしました。とてもノリがよく、テンションが高い、元気な先生たちで、子どもたちも、すぐに打ち解けて、終始笑顔での授業となりました。1, 2 年生は体育館で「英語で遊ぼう」 Rainbow Song を歌い、「英語版だるまさんがころんだ」など体全体を使った英語でのゲームで盛り上がり、1, 2 年生は大はしゃぎでした。5 年生、6 年生は各グループに ALT の先生方が一人ずつ入り(画像参照)、一人ずつ自己紹介、ALT の先生の自己紹介、Question Time など英語でやりとりしました。ALT の先生方からアドリブでたくさん質問もされ、どぎまぎする場面も見られましたが、みんな立派にリアクションをしながら、自然な感じで英語での会話が成立していることに驚きでした。5 年生も 6 年生も日ごろと違う雰囲気から、始めは緊張している様子でしたが、“Where do you want to go?” などタブレットで画像を見せながら積極的に話していました。ALT の先生方のノリで、テンションが上がり、ずっと笑顔で、アイコンタクトしながら、ハイタッチ、ジェスチャーなどを交えながら会話しています。「すごい、小学生でこんなに英語が話せるんだ！」と改めて感動しました。終わってから 6 年生のある男子に聞いたら「楽しかった！また来てほしい」と話していました。英語で話せた感動、達成感、もっと話したいという気持ちが伝わってきました。ALT の先生方からも、「麻生田小の子どもたちはよく話ができる。自分の学校にきて教えてほしい」と言われるほど。

すでに世の中はグローバル化(人、モノ、金、情報が国や地域を越えて世界規模で結び付き、世界の一体化が進むこと)社会。子どもたちの将来はますますグローバル化が進み、外国人と協働していくことが当たり前になってきます。今や「英語」は社会で生き抜く力として必須アイテムとなっています。間違いを気にせず、ノリと気持ちで英語を使っていけば、通じ合うことができます。もっと英語の楽しさを知ってほしいと切に思った 1 日となりました。



5 年生



6 年生

平和のバトンを受け取ってきました！

11月19日(日)、20日(月)6年生のみなさんと長崎へ修学旅行に行ってきました。1日目、ボランティアの方のお話を聞きながら、平和公園を中心に爆心地などを回ったフィールドワーク後、原爆資料館で爆爆者講話を聞きました。講師の八木道子さんのお話は、原爆が投下された当時の生々しい情景が目につくように、みんな食い入るように話を聞き、涙を流す児童もいました。八木さんはもうご高齢なことから、「あなたたちに平和のバトンを渡します。平和をつないでいて。」と私たちに「平和のバトン」を託されました。まず、私たちの身近なところから平和な世界を作っていくこと、気持ちを新たにさせられました。

SDGs 目標 16【平和と公正をすべての人に】



<12月の主な行事予定>

- 5日(火)全校朝会
- 7日(木)レインボータイム
- 8日(金)麻生田 ESD フェスタ Chapter I (なのはな・1・2・6年発表)授業参観(3・4・5年)、学級懇談会(3・4年)
- 12日(火)麻生田モーニング(緑化)
- 13日(水)5年生水俣肥後っ子教室
- 19日(火)ESD 研究モデル校発表
- 22日(金)終業式

